

J R 連合が目指す「民主化」とは 物言えぬ暗黒の職場だ!

J R 連合・J R 東海ユニオン指導部は、『民主化闘争情報』『組織情報』などで、私たち J R 総連に結集する仲間たちに対して、悪辣な革マルキャンペーンを連日のように繰り返して行っています。

「J R から革マルを一掃しよう」などと喧伝していますが、その狙いは、職場から当たり前の組合活動を展開する労働組合を一掃するという事です。「民主化」という言葉を巧みに使って組合員や世論を操ろうとしています。とにかく、「過激派だ、革マル派だ」と宣伝することで、私たちに反社会集団のレッテルを貼り、世間に悪い印象を植えつけることで、当たり前の労働組合活動から組合員が離反するよう仕向けているのです。そのことが革マルキャンペーンの狙いです。まさに労働組合活動の弱体化を狙う会社・権力の意を受けて過激派キャンペーンは展開されているのです。

ところで、その J R 連合の組合員が大多数を占める J R 東海の職場はどうでしょうか？職場では「命令と服従」「規律と忠誠心」の社員管理により、物言えない職場風土が蔓延しています。悩み事も相談できず、自ら命を絶つ社員が少なくありません。また心の病に悩む社員や、退職する社員も多くいます。さらに I C 乗車券不正使用、大麻事件などの「不祥事」も発生しています。当事者のほとんどは「民主化闘争」によって組織化された組合員です。このような職場が本当の意味で民主化された職場といえるのでしょうか？

J R 連合・J R 東海ユニオン指導部がいう民主化のモデル職場が J R 東海や J R 西日本ならば、民主化された職場とは「物言えぬ暗黒の職場」ということになります。このことを覆い隠すため、私たちに革マル派のレッテルを貼り、過激派に仕立て上げることで組合員の目をそらそうとしているのです。だからこそ、職場で悩み苦しんでいる組合員の声には一切耳を傾けず、本来の組合活動そっこのけで革マルキャンペーンに狂奔しているのです。

職場で汗して働く皆さんなら、一連の革マルキャンペーンが全くのデマ宣伝だということが実感できるのではないのでしょうか？狼少年のように「革マル、革マル…」を繰り返せば、組合員を騙せるとも思っているのでしょうか？

J R 東海ユニオン組合員の皆さん！物言えぬ暗黒の職場づくりが民主化ではありません！私たちと共に、当たり前の労働運動を職場から展開し、働きやすい職場づくりのために闘いましょう！

革マルキャンペーンを跳ね返し、
職場から当たり前の労働運動を展開しよう！